

浪江町公式
フェイスブック浪江町公式
インスタグラム浪江町公式
Xなみえ
チャンネルなみえ創成
ブログ6
24
(月)なみえ創成小・中学校
影絵の鑑賞教室

小・中学生が合同で「劇団かし座（横浜市）」による影絵「Wonder Shadow Labo（ワンダーシャドウラボ）」を体育館で鑑賞し、影絵の不思議な世界を味わいました。劇団員は、身近な道具一つで次々に影絵を映し出し、子供たちはプロの技に驚いていました。

その後、ワークショップでは代表の4人が「とり」「かに」「りす」の影絵に挑戦しました。



体育館がまるで劇場に

6
5・6
(水) (木)なみえ創成中学校
相双中体連大会 頑張ってきました

相双地区中体連総合大会が行われ、中学校からは卓球部とバドミントン部の生徒が出場し、団体戦や個人戦を戦い抜きました。惜しくも上位大会進出は逃しましたが、目標としていた結果以上の生徒も複数いて、有意義な大会となりました。

敗れた際に流した悔し涙に、生徒たちのこれまでの思いが込められていました。



卓球部



バドミントン部

7
3
(水)松本芳子さん（川添）
百歳賀寿のお祝い

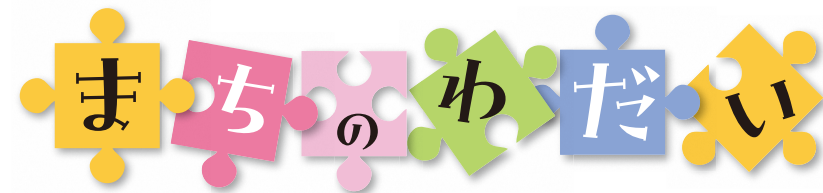
7月1日(月)に、松本芳子さん（川添）がめでたく満100歳のお誕生日を迎えました。

賀寿を記念して7月3日(水)に伝達式を行い、浪江町から賀寿賞状とお祝い金を、県から賞状と記念品を贈呈し、長寿をお祝いしました。

これからも益々のご長寿をお祈りいたします。



満100歳を迎えた松本さん

6
19
(水)道の駅に新グルメ誕生♪
なみえバーガー販売開始

道の駅なみえとふたば未来学園の生徒は、新商品「なみえバーガー」を共同開発しました。請戸産ヒラメのフィレの香味焼きと特製タルタルソース（高校生が開発）が相性抜群のハンバーガーです。町のブランド玉ねぎ「浜の輝」のマリネも添えてあり、夏らしい爽やかな味わいを楽しむことができます。

開発に加わったふたば未来学園3年の佐藤優香さんは「去年の先輩方が開発してくれたタルタルソースを使って浪江をPRできるものが作れました」と笑顔を浮かべました。

駅長の渡邊友二さんは「常盤ものの安全性、美味しさをPRするため、肉厚のヒラメを使いました。浪江のご当地バーガーをぜひ味わってほしいです」と話していました。



価 格：730円（税込み）
販売日：土日祝日の12時～
※ヒラメの水揚げ量で販売数が
変わります。

7
12
(金)花言葉は「希望」
トルコギキョウの出荷始まる

浪江町産のトルコギキョウの出荷が7月中旬から始まりました。NPO法人Jin（幾世橋）の農業用ハウスの中には、薄緑色の涼しげな花が一面に咲き誇っています。

Jinでは震災後、風評被害を受けにくい花で営農再開につなげようと、2013年に浪江町で最初にトルコギキョウの栽培をはじめ、今では首都圏の市場でも高く評価されています。

2021年の東京五輪ではメダリストに贈られる「ビクトリーブーク」に採用されたことでも注目を集めました。

花き栽培による就農・育成にも力を入れていて、現在は町内の花農家の数が10件、昨年には浪江町全体で年間約10万本出荷を達成しました。

町の花き栽培の情報は、「浪江町フラワープロジェクト」で紹介しています。



出荷が始まったトルコギキョウ

ここから下は広告です。